

社会的障害の経済研究「公開講座」

日時 2013年9月28日(土)

午後1時—5時20分

会場 東京大学本郷キャンパス

経済学研究科棟地下1階 第一教室

入場無料

プログラム

司会・長瀬修(立命館大学客員教授)

第1部 知的障害・発達障害と社会

13:00-13:05 代表者挨拶 松井彰彦

13:05-13:45 報告1「知的障害者の本人活動について」

サンフラワーの会会長・小林勇輔氏

13:55-14:45 報告2「『心の理論』の障害は、インペアメントか？」

東京大学先端科学技術研究センター特任講師・熊谷晋一郎氏

15:15-16:05 報告3「知的障害・発達障害と差別解消法」

東京大学先端科学技術研究センター客員研究員・川島聡氏

第2部 差別解消法と障害平等研修

16:20-17:20 報告4「障害に気づく対話の場としての研修」

独立行政法人国際協力機構国際協力専門員・久野研二氏

【情報保障】手話通訳・文字通訳・磁気テープ

車イスをご利用の方、介助者同伴の方、盲導犬同伴の方、
点字レジュメ、拡大文字レジュメ、磁気テープを
ご利用の方は、お申し込みの際に登録フォームにてお知らせください。

お問合せ: rease@e.u-tokyo.ac.jp

参加登録は <http://www.rease.e.u-tokyo.ac.jp/> よりREASE公開講座ページへ



社会的障害の研究から経済理論や社会の歪みをみつめ、経済学を考える

東京大学REASE(社会的障害の経済研究)では、前身のプロジェクトである
READ(障害と経済)をさらに発展させるべく、人々の生きにくさに焦点を当てた
様々なリサーチ・プログラムを展開しています。今回の公開講座では、障害者差
別解消法の成立を受け、とくに知的障害・発達障害に着目し、一線で活躍する
当事者や研究者からの報告を行います。

Research on Economy And Social Exclusion 社会的障害の経済理論・実証研究

科学研究費基盤研究S

<http://www.rease.e.u-tokyo.ac.jp/>

研究代表者 東京大学大学院経済学研究科 松井彰彦